

はじめに

男女共同参画社会を実現することは、多治見市がさらに住みよいまちへと発展していくための大切な要素です。「男性は仕事、女性は家庭」といった性別役割分担意識は、長い歴史の中で、社会的・文化的に形成されています。性別に捉われず、誰にでも優しく、気持ちのよい社会にするために、従来の生き方や役割の意識変革が必要となってきます。

そのための取り組みの一つとして、今回、平成11年に作成された「ジェンダーフリーガイドライン」を21年ぶりに改訂しました。日常生活の中で何気なく使用する言葉やイラスト・写真、事業等を行う際の留意事項について、具体的に記載しています。

市職員をはじめ、市民のみなさまがジェンダー平等について、どのような表現がより望ましいか、どのような配慮をするとより適切か考えていく手がかりとしてご活用ください。インターネットやテレビ等でジェンダー平等について報道される中で、ご自身で気になったり、ご家族等で話し合ったりすることがあると思います。そんな時、このガイドラインを参考にしてみてください。ふとしたきっかけで考えていただくことが適切な表現や理解につながり、ひいては、それが本市の男女共同参画社会の実現につながります。なお、今後も社会情勢の変化により必要に応じて見直しをしていきます。